

美しく深く心を解きはなつ

— モーツァルトの夢と幻 —

# 小林美恵 & 津田裕也

◆ Duo リサイタル ◆



©新津保健秀

©Christine Fiedler

2024年2月25日(日) 14:00 開演 (13:15 開場)

Hakuju Hall

《ヴァイオリン》小林美恵 津田裕也 《ピアノ》

— オール・モーツァルト・プログラム —

ピアノとヴァイオリンのためのソナタ ハ長調 K. 296

ピアノとヴァイオリンのためのソナタ ト長調 K. 379

ピアノとヴァイオリンのためのソナタ ヘ長調 K. 377

ピアノとヴァイオリンのためのソナタ ホ短調 K. 304

ピアノとヴァイオリンのためのソナタ イ長調 K. 526



動画: 小林美恵 (vn) の  
コンサートのご案内:  
<モーツァルトの夢と幻>



Hakuju Hall

チケット: 全席指定 5,500円 U25/2,000円 (税込)

Hakuju Hall オンラインチケット予約: <https://www.hakujuhall.jp>

イープラス eplus.jp ぴあ Pia.jp



eplus



ぴあ  
(Pコード: 252292)

主催: 真鶴音楽会+実行委員会 Info.miekobayashi.22@gmail.com 共催: Hakuju Hall 協賛: Teshigoto Club

# <モーツァルトの夢と幻>

動画：小林美恵 (vn) の  
コンサートのご案内：  
<モーツァルトの夢と幻>



それはいつも突然やってくる。「モーツァルトを弾こう！」

あるリハーサルで、たまたまピアノの譜面台に置いてあったモーツァルトのソナタの楽譜を何気なく弾いた時だった。  
シンプルな音の響きの中に、人間をはるかに超えた音楽だけの世界を一瞬見た気がした。ハッとした。

「そこに行きたい」

モーツァルトの作品はヴァイオリンを習い初めて、わりにすぐに弾く。

幼い頃から他のどの作曲家よりも近くに、いつも側にいてくれる存在だった(実際、私の机の上には少年モーツァルトの置物の人形がいた)。

練習しながら、私はモーツァルトに色々話しかけたものだ。

モーツァルトは父親から音楽の英才教育を受け、ピアノとヴァイオリンのためのソナタを6才から生涯にかけて、40曲程書いている。

最初の就職もザルツブルクの宮廷楽団のコンサートマスターのポストだった。

モーツァルトにとってヴァイオリンはどんな楽器だったのだろうと思う。

モーツァルト人形は、私の問いかけに今は何も答えてはくれない。

モーツァルトが一瞬、私に開いてくれた世界、もしかしたら幻だったのかもしれない。でも探しに行きたいと思う。

小林美恵

## 小林美恵 Mie Kobayashi ヴァイオリン

東京藝術大学附属音楽高等学校を経て、同大学を首席で卒業し、数々の賞をうけ、1990年、ロン=ティボー国際コンクール・ヴァイオリン部門で日本人で初めて優勝。以来、国内外で本格的な活動を開始する。

これまでに、NHK交響楽団、東京都交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、読売日本交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、アンサンブル金沢等の国内の主要オーケストラ、ハンガリー国立交響楽団、プラハ交響楽団のソリストとして、充実した演奏を高く評価される。また、静岡のAOI・レジデンス・クワルテットのメンバーをはじめ、数多くの共演者と室内楽の分野においても活動を広げ、軽井沢国際音楽祭に毎年出演するなど音楽祭にも積極的に参加している。

近年は自主企画公演も意欲的に展開し、デビュー 25周年の2015年から2年間で6回の記念リサイタルを企画好演し、2018年からは、ヴァイオリンの神秘と魅力に多彩な角度からせまる「小林美恵 華麗なるヴァイオリンの伝説」全6回のリサイタルシリーズを行い、2021年10月に完結した。

さらに2020年には3夜で「ベートーヴェン・ヴァイオリン・ソナタ全曲演奏会」、2021年には「室内楽の極み/メシアン『世の終わりのための四重奏曲』」、2022年には「珠玉のヴァイオリン小曲集」や「シューベルトの世界」<ブラームスのヴァイオリン・ソナタ全曲>「ラヴェルの世界」などの演奏会を行い、美しく洗練されたダイナミックな演奏は多くの聴衆を魅了している。

CDは、「プレイズ・クライスラー」ピアノ・江口玲、「フォーレ作品集」「ラヴェル&エネスコ：ヴァイオリン・ソナタ集」ピアノ・パスカル・ロジェ、ツイゴイネルワイゼンなどを収録した「ヴァイオリン名曲集」ピアノ・加藤洋之、「J.S.バッハ：無伴奏ヴァイオリン・ソナタ&パルティータ 全曲」など多数リリース。

使用楽器は昭和音楽大学所有の1734年製ストラディヴァリウス。

現在、昭和音楽大学客員教授、愛知県立芸術大学で後進の指導にあたる。

HP: <http://miekobayashi.com/>



FB: [facebook.com/violinMieKobayashi](https://www.facebook.com/violinMieKobayashi)



## 津田 裕也 Yuya Tsuda ピアノ

仙台市生まれ。2001年東京芸術大学入学。同年、第70回日本音楽コンクール第3位。02年第7回宮崎国際音楽祭にてウラディーミル・アシュケナーズ氏によるレッスンを受講。05年東京芸術大学を首席卒業、安宅賞、アカンサス音楽賞、同声会賞等、数々の受賞を果たし、同大学大学院修士課程に進む。07年第3回仙台国際音楽コンクールにて第1位、および聴衆賞、駐日フランス大使賞を受賞。仙台市より「賛辞の桶」を、宮城県より芸術選奨新人賞を授与される。同年10月よりベルリン芸術大学においてパスカル・ドヴァイヨン氏に師事し研鑽を積む。10年東京芸術大学大学院修士課程を首席修了、併せてクロイツァー賞を受賞。11年ベルリン芸術大学を最優秀の成績で卒業、その後ドイツ国家演奏家資格を取得。同年ミュンヘン国際コンクール特別賞受賞。

ソリストとして、ベルリン交響楽団、東京交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、大阪交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、広島交響楽団、ドイツ室内管弦楽団等と共演。

東京をはじめ日本各地でソロリサイタルを開催するほか、NHK-FM「名曲リサイタル」、東京・春・音楽祭、仙台クラシックフェスティバル、武生国際音楽祭、木曽音楽祭などに出演。10年からはドイツ各地でもソロリサイタルを開催、地元紙にて好評を博す。simcレーベルよりソロアルバム「悲愴、さすらい人幻想曲」を発売。15年にはフォンテックより「メンデルスゾーン：ピアノ作品集」をリリースし、高く評価される。最新盤は18年7月に同レーベルよりリリースした「ショパン：後期ピアノ作品集」。室内楽活動にも積極的で、ヴァイオリニスト松山冴花とデュオを組み、ナミ・レコードより4枚のCDをリリース。また、白井圭 (vn)、門脇大樹 (vc) と共にピアノ・トリオ<Trio Accord>を結成し、国内各地で演奏。2020年10月にはベートーヴェンのピアノ三重奏曲を収録した、トリオ初となるCDをリリースした。その他、堀米ゆずり、加藤知子、山崎伸子など多くの著名な弦楽器奏者と共演している。最近では管楽器奏者との共演も多く、様々な共演者から厚い信頼を得ている。

これまでにパスカル・ドヴァイヨン、ガブリエル・タッキーノ、ゴールドベルク山根美代子、角野裕、渋谷り子の各氏に、室内楽をゴールドベルク山根美代子、田中千香士、河野文昭、山崎伸子の各氏に師事。

現在、東京芸術大学准教授として後進の指導にも力を注いでいる。

次回予定 2024年12月1日(日) Hakuju Hall

HAKUJU HALL

〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷1-37-5

(株)白寿生科学研究所本社ビル 7F

電話：03-5478-8867 (11:00~17:00 火~金 ※祝日・休館日を除く)

<https://www.hakujuhall.jp>



<マップ>



【電車】

代々木公園駅(千代田線) 出口1より 徒歩5分

代々木八幡駅(小田急線) 南口より 徒歩5分

【京王バス】: 「富ヶ谷」停留所 下車徒歩1分 渋谷駅西口バスターミナルより10分

渋谷63(中野行) 渋谷64(中野行) 渋谷66(阿佐ヶ谷行) 渋谷69(笹塚循環)